

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

小学部の学部目標には、「自ら取り組もうとする児童を育てる」、中学部の学部目標には、「自ら考え、状況に応じて行動する生徒を育てる」、高等部の学部目標には、「地域の中でたくましく生きる生徒を育てる」という一文があります。その目標達成のためにも、課題対応能力（計画・実行する力）が求められます。今回は、計画・実行する力をつけていく取り組みを紹介します。

- **高等部** 目的を理解して活動を継続する。自分の立てた目標に向けて努力し達成感を味わう。
- **中学部** 一定時間集中して取り組む。課題を成し遂げることで達成感を味わう。
- **小学部** やることが分かり、活動に取り組む。最後までがんばろうと努力し、「できた」という経験をする。

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部パワー祭り制作>

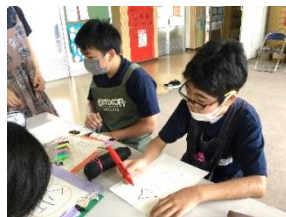
5年2組のパワー祭り展示作品の制作では、コリントゲーム作りをしました。たくさんのペグをマークされた箇所我真つすぐに接着していくことは、指先の微調整とともに集中力が求められます。根気強く一本ずつボンドで接着しました。最後の一本を接着すると「できた。」という喜びを感じている表情でした。盤面も自分でデザインを考えて塗りました。ビー玉が勢いよく飛びペグの間を抜けていく様子を見て、どの児童も最後までやり遂げようと努力し、大変満足そうな表情を見せていました。



<中学部パワー祭りイベント広場>

中学部のイベント広場は、学習発表と作業製品の販売会が行われました。作業製品の販売は、感染症対策のため各学年から4名のみが販売係として活動を行いました。当日に向け何度も練習を重ねた販売係12名の様子を紹介します。

「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」などのあいさつ練習では、お客様の顔を見て声を出すことや、語先後礼の方法を学習しました。また、どのような看板が見やすくわかりやすいのかといったことを考えながら商品説明のポップを作りました。普段の作業学習とは違う内容でも、集中して取り組む姿がありました。「製品完売！」という結果に、大きな達成感を得た生徒たちでした。保護者の皆様の御協力にも感謝いたします。



<高等部パワー祭り製品販売会>

高等部では、作業学習の時間に作った製品の販売会を実施しました。製品販売だけでなくサービス班においては、喫茶接客サービスのデモンストレーションも併せて実施しました。作業班ごとに目標とする販売数や売上金を設定したり、接客練習を繰り返し実施したりしてパワー祭りに備えてきました。販売する商品が不足していた作業班では、役割を分担しながら直前まで制作活動に取り組みました。

パワー祭り当日は、接客や誘導、会計処理などの役割を分担しながら、どのようにすれば製品を買っていただけるのか、どのようにすればお客様に喜んでいただけるのかを、友達や教師と話し合いながら活動することができました。今後も保護者の皆様や地域の方々に喜んでいただける活動になるように努めていきます。

